

## 第6学年 国語科学習指導案

日時 令和2年11月19日(木) 6校時  
学級等 2組 男子16名, 女子14名, 計30名  
指導者 教諭 田中 綾

- 1 単元名 表現の工夫をとらえて読み, それをいかして書こう  
(教材「『鳥獣戯画』を読む」(高畑勲)「日本文化を発信しよう」)

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

児童は, 1学期に「笑うから楽しい」(中村真)「時計の時間と心の時間」(一川誠)を使って, 筆者の主張とそれを支える事例を捉えて読み, 関係付けて要旨をまとめる学習をしてきた。また, 文章の構成を捉え, 筆者が文章を書いた目的について考える学習もしてきている。そこで, 本単元においては, 目的に応じて読み方を選択し, 必要な情報を見つけたり, 論の進め方について理解したりするとともに, 相手・目的に応じて効果的な構成を考えて文章を書くことができることをねらいとしている。ここでの学習は, 論の展開や表現の仕方に着目して複数の文章を読み, 考えを交流する「メディアと人間社会/大切な人と深くつながるために」の学習へ発展する。

#### (2) 児童観

本学級の児童の説明文の読み方や, 説明文の読解に必要な基本的な知識に関する実態を把握するために質問調査を行った。すると, 本学級の児童の多くは, 説明的な文章を読む際, 形式段落に分けたり, 構成の種類を意識したりして筆者の考えの中心を捉えることはできていると分かった。また, 目的に応じて事実や経験と感想, 意見とを区別して文章を考えることはできていた。しかし, 筆者の主張を探すために着目すべき語彙や表現が理解できていない解答の傾向から, 目的に応じて必要な読み方を工夫することを意識的にはできていない実態も読み取れた。また, 文章全体の構成を捉えて文末表現や文と文の接続の關係に着目して要旨を把握することや, 見出しや構成の効果を考えて文章を考えることは十分ではないと分かった。

以上のことから, 本単元の指導を通して, 目的に応じて読み方を選択し活用していく力の育成や, 目的に応じ, 情報を適切に用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を培いたいと考える。

#### (3) 教材観

ア 「鳥獣戯画」には, 次のような特性がある。

(ア) 筆者の高畑勲氏がアニメーション映画のプロとしての立場から, 「鳥獣戯画」が日本の「漫画の祖」でありアニメーションのルーツであるとして価値付けた文章である。

(イ) 絵と文章を合わせて読み, 筆者が絵のどこを取り上げて, どのように評価しているかを分析することで, 筆者のものの見方を読むことができる。児童は, 絵や写真の使い方や評価語彙の使い方など, 自分の表現にいかすために学ぶことができる。

イ 「日本文化を発信しよう」では, 次のようなことを学ばせることができる。

(ア) 「日本文化」について考えたことや伝えたいことをパンフレットという形で文章にするまでの情報の適切な使い方や, プロセスを学ぶことができる。

(イ) パンフレットの構成例, 割り付けの例, 推敲の仕方, パンフレットのモデルなどが示されており, 伝えたいことに合わせた表現の方法を具体的に学ぶことができる。

#### (4) 指導観

本単元では、「日本文化」を調べ、そのよさが読み手に伝わるように構成や絵、写真の見せ方を工夫して、パンフレットにまとめるという言語活動を設定する。

第一次では、「日本文化」への関心をもたせ、「日本文化を調べてパンフレットにまとめてALTの先生に伝えよう」という学習課題を設定する。その際、児童が持ち寄ったパンフレットを分析させ、パンフレットの特徴を発見させ、学習計画を協議させていく。

第二次では、教科書教材「鳥獣戯画」を使ってパンフレットの1ページを書く学習を設定する。ここでは、要旨を捉えるための速読の仕方や、解説を書くための絵や写真と文章を関連付けた読み方、筆者の絵や写真の見せ方や論の進め方などの工夫を捉える学習をさせる。

第三次では、第二次の学習を生かしながら、グループごとに分担した「日本文化」のページを書かせていく。そして、本や文章から引用するときには、著作権に配慮させ、引用の仕方や出典の示し方も併せて指導していく。でき上がったパンフレットをALTの先生に読んでもらい、感想をもらうことで、学習の成果を実感させていく。

### 3 単元の指導目標

- (1) 引用したり出典を示したりするなど、調べた情報を適切に用いることができる。【知識・技能】
- (2) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。【思・判・表 B(1)イ】
- (3) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。【思・判・表 B(1)エ】
- (4) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。【思・判・表 C(1)ウ】
- (5) 進んで日本文化の魅力を紹介したり、自分が捉えた魅力を伝える表現の仕方を工夫しようとする。【学びに向かう力・人間性等】

### 4 単元の指導計画 全11時間

次	時	主な学習活動	指導上の留意点
第一次	1	1 知っている日本文化について話し合う。 ・和食 ・和服 ・伝統芸能(歌舞伎, 能, 狂言) ・漫画 ・和歌 ・伝統工芸 2 学習課題を決める。 日本文化の魅力やよさをパンフレットにまとめて、ALTの先生に発信しよう。 3 学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考となるようなパンフレットを準備する。</li> <li>・ 参考文献を準備しておく。</li> <li>・ 発信先について伝える。</li> </ul>
	2	1 本時のめあてをつかむ。 パンフレットは、どのように書かれているだろうか。 2 持ち寄ったパンフレットから、その構成や内容などについて分析する。 ・見出し ・リード文 ・写真や図(キャプション) ・コラム 3 グループで、これから作成するパンフレットの目次や構成などについて話し合い、担当するページを決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備したパンフレットや教科書のモデルをもとに、グループで分析させる。</li> <li>・ 漫画のパンフレットの1ページとして「鳥獣戯画」を取り上げることを確認する。</li> </ul>

第二次	3 (本時)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本文化の一つである漫画のページを作成することを確かめる。</li> <li>2 本時のめあてをつかむ。 「鳥獣戯画の」ページには、どんな見出しを付ければよいただろうか。</li> <li>3 見出しの役割を考えて、その条件を決める。</li> <li>4 各自で見出しを考え、全体で話し合う。</li> <li>5 構成図にまとめて、見出しと小見出しを決める。 見出しの例：『鳥獣戯画』は人類の宝 小見出しの例：①楽しくモダンな絵巻物 ②自然でのびのびした絵 ③大切に保存した祖先たち</li> <li>6 見出しが筆者の考えの中心であることを確かめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要旨を捉えるために速読をさせる。</li> <li>・ 説明文の3つの型を確かめる。(頭括型、尾括型、双括型)</li> <li>・ 接続語に着目した文と文の関係(しかも、だから等)や文末表現に着目して筆者の主張を捉えさせる。</li> </ul>
	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のめあてをつかむ。 3つの小見出しには、どのようなことを書けばよいただろうか。</li> <li>2 評価の言葉に着目して本文を読み、抜き出す。</li> <li>3 抜き出した評価の言葉が、どの小見出しに当たるか当てはめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解説を書くために必要となる情報を、最終段落と照らし合わせて探させる。</li> <li>・ 評価語彙「実に素晴らしい」等に着目させる。</li> <li>・ 文末表現「のだ」「ちがいない」等に着目させる。</li> </ul>
	5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のめあてをつかむ。 3つの小見出しの内容は、どのように書けばよいただろうか。</li> <li>2 各自100字程度で書く。</li> <li>3 書いたものを交流して推敲する。</li> <li>4 清書する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけた表現の工夫をパンフレットづくりに生かすように助言する。</li> </ul>
	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のめあてをつかむ。 筆者は、論の展開や表現にどんな工夫をしているだろうか。</li> <li>2 各段落の第一文から、段落の構成を考える。</li> <li>3 文末表現を中心に、表現の工夫について考える。</li> <li>4 絵の示し方の工夫について考える。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけた表現の工夫をパンフレットづくりに生かすように助言する。</li> </ul>
第三次	7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のめあてをつかむ。 集めた情報をどのように活用すればよいただろうか。</li> <li>2 「調べた情報の使い方」について確かめる。 ・ 引用や出典(既習事項) ・ 著作権</li> <li>3 自分の選んだ題材についての情報を調べ、必要なことをメモする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習事項を確認できるように、該当学年の単元や教材と結び付けさせる。</li> </ul>
	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のめあてをつかむ。 自分のパンフレットにはどのような見出しを付ければよいただろうか。</li> <li>2 自分が選んだ日本文化について評価する。</li> <li>3 ページの割り付けを決める。</li> <li>4 見出しや小見出しを付ける。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紹介する日本文化に対する自分の主張を明確にしながら見出しや小見出しを考えさせる。</li> </ul>

9 ・ 10	1 本時のめあてをつかむ。 パンフレットを完成させよう。 2 メモをしたことをもとに、パンフレットの記事を書く。 3 グループ内で読み合い、記事の内容や表現を検討する。 4 パンフレットを完成させる。	・ 6時でまとめた『鳥獣戯画』の筆者の表現の工夫を示す。
11	1 本時のめあてをつかむ。 パンフレットを読み合おう。 2 作成したものを読み合い、感想を伝え合う。 3 A L Tからの手紙を読み、単元の学習をまとめ、振り返る。 ・ パンフレットにまとめるときには、どのような読み方をしたか。 ・ 読み手によく伝わるパンフレットにするためには、どんな工夫をしたか。 ・ 写真や絵の活用      ・ 見出しやリード文の効果 ・ 著作権のルール      ・ 主張を支える事例 ・ 構成	・ 事前にA L Tに読んでもらい、感想を手紙で伝えてもらっておく。

## 5 本時 (3/11)

### (1) 目標

- ア 文章の構成についての知識を使うことができる。(知識及び技能)
- イ 「『鳥獣戯画』を読む」の要旨を捉えることができる。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ウ 問題意識をもって学習活動に取り組もうとする。(学びに向かう力, 人間性等)

### (2) 本時の指導に当たって

本時の指導に当たっては、以下のような点に留意して指導していく。

- ア 導入段階では、パンフレットの構成を振り返りながら、読み手はまずどこに着目して読み始めるか考えさせることで、本時の見出しを付けるという活動の見通しをもたせる。このとき、見出しの役割をもとに、見出しを付けるためには筆者の考えの中心を探ることが必要であることに気付かせる。そして、それを探して読むには何に着目すべきか課題の解決する読み方の見通しをもたせる。
- イ 展開段階では、見出しを考える活動を通して、筆者の考えの中心を探させる。このとき、時間を設定することで、見当を付けて読む速読を行わせる。そして、児童の考えた意見をもとにふさわしい見出しを選ぶ中で、着目した文末表現や接続詞の役割を確認する。また、見出しを分類するときには、筆者の論の展開や構成が視覚的に分かるよう構造化していく。
- ウ 終末段階では、筆者の考えの中心を探して読むには、どんな語彙に着目したり、どんな読み方をしたりしたか振り返らせ、目的に合わせた読み方としてまとめる。そして、次時の学習である小見出しの内容を考える活動の見通しをもたせて終わる。

(3) 本時の展開

過程	主な学習活動	時間 (分)	指導上の留意点 (※ 評価の観点)
導入	<p>1 前時の学習について振り返り，パンフレットの構成を確かめる。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「鳥獣戯画」のページには，どんな見出しを付ければよいだろうか。</p> </div> <p>3 見出しの役割を考えて，その条件を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆者の伝えたいこと(要旨)を見出しにする。</li> <li>・ 10文字程度で書く。</li> </ul> <p>4 課題を解決するための読み方の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明文の3つの型を確認する。</li> <li>・ 文末表現やつなぎ言葉に注目する。</li> </ul>	7	<p>○ 単元の学習計画を提示し，本時の学習活動を捉えさせる。</p> <p>○ 前時の学習で分析したパンフレットの特徴をもとに見出しの条件を提示する。</p> <p>○ これまでの説明文の構成をもとに，筆者の考えの中心を探して読む方法の見通しをもたせる。</p> <p>※ 問題意識をもって課題を解決しようとしていたか。 (学びに向かう力，人間性等)</p>
展開	<p>5 条件に従って見出しを考える。</p> <p>(1) 各自で見出しを考える。</p> <p>(2) 短冊に書いて黒板に貼る。</p> <p>(3) 見出しを分類し，ふさわしい見出しについて全体で検討する。</p> <p>&lt;予想される見出し&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大切に保存されてきた絵</li> <li>・ 自由闊達な絵巻物</li> <li>・ 人類の宝「鳥獣戯画」</li> <li>・ 漫画やアニメの祖 など</li> </ul> <p>6 筆者が「『鳥獣戯画』は人類の宝なのだ。」と述べている理由を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しくモダンな絵巻物である。</li> <li>・ 一つ一つの絵が～のびのびしている。</li> <li>・ 祖先たちは大切に保存し，伝えてくれた。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">人類の宝</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; width: 20%;">祖先が大切に保存した絵</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; width: 20%;">自由闊達な絵</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; width: 20%;">楽しくモダンな絵巻物</div> </div> </div>	28	<p>○ 短冊に書けた児童からどんどん黒板に貼らせる。</p> <p>○ 黒板に貼った児童には，友達へのアドバイスをさせる。</p> <p>○ 筆者の主張を探すために着目した文末表現や，接続詞，文と文との関係をもとに話し合わせる。</p> <p>○ 「しかも」「だから」などの接続語の役割について確かめる。</p> <p>※ 文章の構成の知識を使って，要旨をとらえるための読みができたか。(知識及び技能)</p> <p>○ 見出しを分類，検討する中で，筆者の考えや論の展開を視覚的に構造化し，筆者の主張である「人類の宝」と，小見出しとなり筆者の主張を支える根拠が3つあることに気付かせる。</p> <p>○ 5の活動で出てきた児童の考えを生かせるようにする。</p> <p>○ 筆者の主張の根拠となる事柄を小見出しとし，今後，熟読していく意欲をもたせる。</p> <p>○ ここでまとめた見出しが今日の学習のめあてに対するまとめであることを確認する。</p>

<p style="text-align: center;">終 末</p>	<p>7 本時の学習で活用した読み方をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明文を読むときは、型を意識して読むとよい。</li> <li>・ 文末やつなぎ言葉に注目すると、筆者の主張が読み取りやすい。</li> </ul> </div> <p>8 本時の振り返りを書く。</p> <p>9 次時の学習について確かめる。</p>	<p style="text-align: center;">10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人類の宝」を使ってパンフレットに見出しを付ける。</li> <li>※ 筆者の考えの中心をもとにパンフレットの見出しを付けることができたか。 (思考力, 判断力, 表現力等)</li> <li>○ 筆者の主張を探すときに着目した語や, 活用した方法を振り返り, 要旨を捉えるための読み方(速読)とそのよさに気付かせる。</li> <li>○ 振り返りシートの観点に沿って書かせ, 学びを自覚させる。</li> </ul>
--	--	--

(4) 評価

- ア 文章の構成の知識を使って, 要旨をとらえるための読みができたか。
- イ 筆者の考えの中心をもとにパンフレットの見出しを付けることができたか。
- ウ 問題意識をもって課題を解決しようとしていたか。